

SHOW! 航海! フロントア

幸手市商工会 青年部新聞

2007年3月1日(木) 発行

幸手市商工会青年部
発行所 船川高広
編集 総務委員会

スーさん・全さん・あきらさん・としやさん・健ちゃん 青年部卒業おめでとうございます!

総務委員会 鈴木 康之

私は6年弱、青年部活動をみんなとさせていたきました。楽しかった事、大変だった事などいろいろ思い出します。その中で私にとつて特に思い出深い事業は「さくらふれあいまつり」です。みんなの身長以上もある草を刈る事から始めて、最高のおまつりを開催する事ができました。みんなでゼロから成し遂げた達成感には忘れる事はないでしょう。来年度以降もいろいろな事業をみんなとつになつて作り上げ、最後にうまい酒を飲んで下さい。いい思い出をありがとうございます

総務委員会 山中 健彦

私が、商工会青年部に入会したのは、今から約十五年ほど前になりました。その間さまざまな、事業がありました。正直あまり参加出来ませんでした。それでも都合のつく時に、出れる範囲でいいというのが青年部のよさであり、多くの部員の人達と、事業を通じて、親交が深まりたくさんの思い出が出来ました。

入会したときは、卒業なんてずっと先の事だと思つてましたが、あつという間に過ぎた気がします。今まで色々お世話になりました。

副部長 山崎 俊也

卒業、まだ全然実感がなく、卒業をしたらすごく寂しいのだろうなと思ひます。

家業を継ぐため幸手に戻つてから、すぐ船川部長に声を掛けていただき、入会してから十数年所属してきました。初めは言われたことしか出来ず、何をやっているのか全然解らなかつたのですが、常任委員会の会議に出席をするようになり、他委員会の行っている事業を知り、段々組織の把握が出来るようになってきたと思ひます。二十代から四十まで、色々な方と知り合うことができ、また事業を通してながら勉強をし、楽しく仲間づくりができ、青年部は最高の団体だと感じました。

研修委員会 福島 晃

青年部では、あまり出席できず、ご迷惑かけましたが、色々な経験をさせて頂きました。

他青年部との交流や歓楽会、ファミバケ、市民祭りなど思い出がたくさんできました。なにより、年齢も関係なく皆さんと知り合え、一緒に活動できたことがとてもうれしかったです。ありがとうございます。

船川体制任期満

青年部 部長 船川高広

陽光麗らかな早春を眺めるとすれば二年前、第十七代部長を仰せつかった時の事が蘇ってきます。

自信がなく不安だらけの始まりでした。私自身その様な心胆の中で信頼のおけるメンバーと共に、一つ一つと事業を行っていくたびに心の繋がりが強くなっていく事を感じられました。

商工青年主張大会においては芦葉君が関東大会に進出し大会三位の優秀賞をとり、また野球大会では地区準優勝、などと様々なイベントや事業で皆が一丸となり素晴らしい行程の「幸手らしさ」を發揮してくれました。折りしも青年部創立三十周年という節目も迎え「絆」という旗のもと未来に向けて歩み始める事も出来ました。

紙面では語りきれない沢山の思い出と出会いがありますがこの場をお借りいたしまして関係各位、商工会、部員その他大勢の人々に感謝申し上げます。

桜の花が満開になる頃には、第十八代部長が夢と希望を抱いて進んでいく事でしょう。頑張ってください。応援します。結びになります。二年間ありがとうございました。

第四ブロック理事 宮田 充

この二年間、ブロック理事と言う役職をいただいて四ブロックという立場から幸手を見る事ができました。

驚宮と幸手を担当させていただきましたが、たくさん経験、仲間ができました。また、市町村の枠を超えた付き合いの中から、特に広域連携事業を八潮市において行い地域の方や四ブロックの青年部員との交流の手伝いが出来たかと……。

この経験を、ラスト二年皆に伝えて行けたらと思ひます。最後に気持ちよく送り出さずいただいたメンバーに感謝したいと思います。有り難うございました。

副部長 山崎 俊也

今年度、二年間を通して地域振興委員会と研修委員会の担当副部長を務めさせて頂きました。各委員長には迷惑ばかりかけ、何もできなかった担当ですが、委員長の委員会をまとめる姿や、和気あいあいと事業をこなしていく委員会メンバーの姿を見てみると両委員長の成長する過程を肌で感じた二年間だったと思います。もうすぐ卒業ですが青年部の皆さんとずっと一緒に居たいと感じました。

副部長 梅澤 隆史

思い起こせば二年前、船川部長から『副部長をやってほしい』という申し出があり、正直、俺でいいのかあ？と思いつつも、受けさせて頂きました。副部長として、イベントや会議等に参加させて頂いたとき、多種多様な方々と交流を持ち、他では出来ない皆さんの経験が出来たと思っております。デキの悪い副部長でしたが、二年間を通じてサポートしていただいた事務局、そして青年部の仲間達に対して『感謝……』。

監査 中村 雅則

監査という役職について、はやいもので二年がたちました。総務委員会と親睦委員会の担当として、すべての事業に100パーセント参加できなかったことに対し申し訳ありませんでした。

しかし、両委員会の発足当時と今を比べると、格段と頼もしくなつたと感じます。今後も自分自身の成長の為に、なんでもチャレンジしていつて下さい。

監査 鈴木 雅之

二年間を振り返ってみて改めて部員の団結力の凄さというものを感じました。各委員会の新事業への取り組み意欲には感心するばかりでした。監査という役職にしながら全くというほど「力」にならずに任期を終えてしまつて申し訳ありません。船川部長を始め部員の皆さん本当にお疲れさまでした。そして、次年度の新体制に期待しています。ありがとうございます。

総務委員長 柳下 直之

総務委員長に選ばれてから二年がたち、早いもので任期も残りわずかとなりました。短期・長期的・継続的などの様々な事業を協力・助け合いながらクリアしていき、その間、貴重かつ大切な人生経験の一ページを構築できました！これも現体制での青年部メンバーや委員会メンバーとのコラボレーションがあったからだと思います。

総務委員長という役をやらせて頂き、自分の事ばかりで申し訳ないのですが、いろいろな意味で良い二年間でした！

研修委員長 小栗 泰直

この二年間を振り返り、前の総会資料に目を通してみると「事業目的である「社会一般の福祉の向上並びに、自己修練を目的とした活動」をもとに、「元気なまちづくり」のために自分たちに今できること、やらなければならないことを実行していきたいと思います。」と掲げていましたが、『やろうと思つている』のまま実行できなかったことが多かったと反省してしまいます。がしかし、みんなで委員会を開き打合せを重ね、実行できた名古屋・熊本への視察研修旅行や三十周年記念DVD製作など、その中で得られた今までにない経験、課題をクリアして形にしてきた事は、大きな実績であったと思います。

大きなことも大切ですが、小さな実行できたことの積み重ねをこれからも皆で共有していきましよう。

親睦委員長 花輪 佳男

早いもので私が親睦委員会の委員長をおおせつかりまして二年の任期が終わろうとしています。委員長という立場で多数の事業をやらせてもらい、たくさんの思い出ができました。特に芦葉君、倉繁君に出場してもらいました。主張大会では、幸手市商工会青年部の勢いを感じ、主張内容に感動しました。その他、ファミバケ、野球大会、新年会、忘年会、三十周年の懇親会など印象に残る事業ができたと思います。

これも副委員長をはじめとする親睦委員会のメンバー、部員全員の協力があったのだと思っております。二年間ありがとうございました。

地域振興委員長 辰野 正洋

二年間の委員長活動で私が一番学んだことはやはり仲間の大切さです。地域振興委員会は新しく設立した委員会なので委員会のメンバーと、とにかく何か新しい事をやろうという思いから始めたのがクリスマスイルミネーションコンテストです。

色々な壁にぶつかり、悩んだり、へこんだり。そんな中、大丈夫だよ、なんとかなるよと皆に助けられた事を思い出します。他にも三十周年の鮪の解体など、色々な行事を仲間達と過ごしてきました。まとまりませんが最後に、委員会のメンバー、事務局も含め青年部の仲間達、ありがとう